

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2021年8月18日

株式会社JMC

3Dプリンター技術を活用した 医療用シミュレーターブランド『JMC Lab』が誕生

3Dプリンター出力事業、鋳造事業、CT事業を展開する株式会社JMC（神奈川県横浜市 代表取締役社長兼 CEO：渡邊大知）は、新たに医療用シミュレーターを扱うブランド『JMC Lab（ジェイエムシーラボ）』をリリースいたしました。



WEB サイト：<https://jmc-lab.com/>

JMC Lab 開設の背景

昨今、医療技術はめまぐるしく進化し、日々新しい治療法が確立され、同時に手技のトレーニングといった教育にも新たなニーズが生まれています。JMC はそれらニーズに対して、3D プリンターという最先端技術を核とした『ものづくり』によって、各手技に最適化したシミュレーターの開発をサポートしてきました。お客様の求めるものを実現すべく、あらゆる可能性を検討し、最適解を導き出す企業である JMC。その強みをさらに強化すべく、『JMC Lab』ブランドを立ち上げました。

JMC Lab の概要

『JMC Lab』は、「すべての人が安心・安全な医療を受けられる未来」を目指し、JMC がこれまで培ってきた医療用臓器モデル作製のノウハウを生かし、日々進歩する医療技術や手技に対する教育を目的としたシミュレーターの開発・製造・販売を行います。

製造・販売体制についても、JMC Lab の立ち上げに際して大幅に強化しており、Vascular（血管領域）、Non-Vascular（非血管領域）、Bone（骨）に分かれて活動するセールスチームと、3D プリンターを始めとしたものづくりの専門知識を有する製造チーム、シミュレーターの研究開発を担う R&D チームの 3 つの軸で推進することで、今後のシミュレーター開発の加速を図っています。

また、シミュレーターの開発だけに留まらず、ウェビナーやハンズオンセミナーといったシミュレーターを使用するイベントの支援を行うサービスを提供しており、医療業界の教育シーンの活性化に寄与できるよう取り組んでまいります。



当社概要

1999年、光造形方式の3Dプリンターを導入して製造業に参入。3Dプリンター出力による部品製造の事業規模が拡大する中、2006年に有限会社エス・ケー・イーを吸収合併し、砂型鋳造法による鋳造事業をスタート。3Dプリンターで培ったデジタル技術を背景に、職人の肌感で語られることが多かった鋳造を定量化することで、経験年数に依存せずに質の高い鋳造ができることを証明。業界に新たな進化を起こした。2015年には産業用CTによる非破壊検査・測定を目的としたCT事業を開始。さらに、心臓カテーテルシミュレーター『HEARTROID』の販売でメディカル分野にも領域を拡げた。2016年東京証券取引所マザーズに上場。

所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-5 住友不動産新横浜ビル 1F

代表者：代表取締役社長兼CEO 渡邊大知

設立：1992年12月18日

資本金：782,671千円

売上高：2,458百万円（2020年12月期）

従業員数：140名（2020年12月末）

事業内容：3Dプリンターおよび砂型鋳造による試作品、各種部品・商品の製造、販売
産業用CTの販売および検査・測定サービス
高度管理医療機器等の販売、医療機器等の製造・製造販売

URL：<https://www.jmc-rp.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社JMC 広報担当

電話：045-477-5751 / メールアドレス：pr@jmc-rp.co.jp